

直末のオーラルフィジシャンへの道

ひるま矯正歯科 むし歯・歯周病治療担当 歯科医師 書間直末



オーラルフィジシャンセミナー受講生で集合写真

こんにちは、書間直末です。約1年かけて山形県日吉歯科のオーラルフィジシャンセミナーに参加し多くの学びを得ましたので報告させていただきます。

健康保険の破綻!!

日本では近い将来、超高齢化に伴う医療費の増加により、健康保険は破綻し多くの歯科疾患が保険の適応から除外され、お

金のない人はむし歯や歯周病の治療を受けられない時代が来てしまいます。一方、口腔を健康にしている高齢者は全身の疾患にもかかりにくく医療費をあまり必要としない事になっています。

口腔内科医による予防

そこで、口腔健康を低下させる二大疾患であるむし歯と歯周病に対して歯を削ってつめる修復や抜歯などの外科的な歯科処置を行うのではなく、疾患の原因である細菌や免疫力に対して内科的に対応し予防を行う口腔内科医(オーラルフィジシャン)により生涯にわたって疾患の発症と再発を予防する必要があります。また、むし歯と歯周病のリスクを調べる唾液検査や歯周組織検査を行いリスクを低下させる初期治療を行うことから質の高い歯科治療を行い、その後はメインテナンスによりリスクが上昇しない様にコントロールするメディカルトリートメントモデル(MTM)に沿って治療を進めることが重要であると日吉歯科熊谷先生は提唱しています。

ひるま矯正歯科の取り組み

当院では院長が熊谷先生の考えに共感し、2006年に院長と衛生士の鬼塚がオーラルフィジシャンセミナーを受講し、その後99%の患者さんにMTMに基づいた矯正治療・一般治療・メインテナンスを行っています。また毎年スタッフ全

員でオーラルフィジシャンチームミーティングに参加し、患者さんのお口を守ることを考えてきました。今回のMTMの流れを診療にもっと根づかせるため私自身も研修を受ける必要があると考え、約1年間にわたり衛生士の千田と当院のMTMを再度見直し、修正を加え、分析をして沢山の資料を作り発表をしてきました。熊谷先生から99%の患者さんにMTMを数年にわたって行っている事についてお褒めの言葉をいただきました。現在の日本ではDIII(歯を削る)EIII(歯に詰める)BIII(お金をもらう)という壊れたものを治す治療で経営が成り立っている医院が殆どで、MTMを実践したくても出来ない医院が多いそうです。

日々の診療で感じること

毎日の診療で他の医院で治療された歯の再治療を多く行っていますが、本当にこの治療が必要だったのか、歯を削る必要があったのだろうか、と考えさせられることがよくあります。人それぞれ口腔内のリスクが異なり個々のリスクに合わせればもっと負担の少ない治療法があったのではないかと、リスクを把握しないで今ある問題にだけ対応している事で歯はどんどん壊れていると感じました。MTMを実践してセミナーに参加し再度分析した事でMTMの重要性をより深く理解する事が出来ました。今年はスウェーデンでの研修に参加し、本場のMTMを自分の目で見てご報告させていただきます。

結婚しました!

こんにちは! 歯科衛生士の島崎沙耶佳です。昨年12月に結婚し、新姓「門間」となりました。かどまん? とよく聞かれますが「もんま」です。東京では珍しい苗字ですが、宮城ではメジャーです(笑)。通称もんちゃん(^-^)/ 新生活と仕事の両立に奮闘中ですが、これからも歯科衛生士として充実した毎を送りたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします!

歯科衛生士 門間 沙耶佳



ヒルマヤスアキのホッとひと息

成長を実感した2013年と期待する2014年

昨年は、多くの研修に参加し多くの先輩方から多くの事を学び、その学びが成長へつながる事を確信出来た1年でした。まず、1年を通して、30年近くMTMに基づいたメインテナンスの実績がある日吉歯科衛生士の徳本さんにお越しいただき、スタッフ全員で唾液検査結果の説明や分析、歯石除去の方法、ブラッシング指導法など改めて科学的な根拠に基づいた講義と実技指導を行っていただきました。

次に、日吉歯科のようなメインテナンスを実践されている山形県山形市の齊藤歯科をまるまる2日間スタッフ全員で見学させていただきました。職域毎に指導やアドバイスを受ける事ができました。齊藤歯科では歯を守るという一つの目標に向けて各職域のスタッフが自分で考えて行動しています。歯を守るためにどのような設備、滅菌・消毒のシステムが確立されなければならないか、歯を守るために何が必要かを当院スタッフ一人一人が目の当たりにしました。

さらに直末先生がオーラルフィジシャンセミナーやオマハの解剖学研修を受講し、学びや刺激を受けて帰ってきました。これまで僕が指示を出す機会が多かったのですが、昨年は直末先生から改善策が多く提案された事が大変嬉しい事でした。

総じて、2013年は僕が一生懸命に学びスタッフに伝えるというステージから、スタッフ一人一人が自ら学び行動する変革の年になったと感じ、僕が父から医院を引き継いでからスタッフの成長を最も実感できた素晴らしい1年でした。2014年は、成長したスタッフ一人一人の考えを尊重しながらより多くの患者さんの歯を守るシステム改革、メインテナンスに長期に通っていたたけるシステム改革、患者さんの目に見えない滅菌消毒をさらに徹底するシステム改革を行いさらなる成長を期待しています。手前味噌ながら今年のおひるま矯正歯科の事を考えるとワクワクします。今年もどうぞよろしくお願いたします!



徳本さんの講義を受けるスタッフ



齊藤歯科見学の様子

お知らせ

4月1日より小学3年生までの検査・診断が有料になります。詳しくはホームページをご覧ください。